

全国的にクマの目撃情報が多発していることを踏まえ、児童生徒等の安全を確保するため、各地域の実情に応じた対策の検討や注意喚起、指導等の参考としてご活用ください。



事務連絡
令和8年5月29日

各都道府県・指定都市教育委員会学校安全主管課
各都道府県私立学校主管部課
附属学校を置く各国公立大学法人担当課
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた
各地方公共団体の学校設置会社担当課
各文部科学大臣所轄学校法人担当課 御中
各国公私立高等専門学校担当課
各都道府県教育委員会専修学校主管課
各都道府県専修学校主管課
専修学校を置く各国立大学法人担当課
厚生労働省医政局医療経営支援課
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課
各都道府県・指定都市・中核市認定こども園主管課

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課

クマ被害防止対策動画・リーフレットについて

先日、「クマの出没に対する児童生徒等の安全確保について」発出（令和8年5月15日付事務連絡）し、都道府県等教育委員会向け学校安全行政担当者連絡協議会（同年5月26日）を通じて、クマの出没時における児童生徒等の安全確保に関し、通学路の点検・変更等の安全対策の実施や、各地域の実情に応じた学校の危機管理マニュアルの改訂等について、環境省作成の「クマ類の出没対応マニュアルー改定版ー」、「クマによる人身被害事例からクマに出会わないためにできることや出会ってしまった時の対処について」やクマの生息地域を有する教育委員会の取組事例を交えて再周知したところです。

この度、環境省と連携し、政府広報として、通学時の注意点等を分かりやすくまとめた、児童生徒等向けのクマに関する動画を作成しました。特にクマの出没が頻発している地域においては安全教育・安全指導の一環として、本動画を教室等で流すなどし、ぜひご活用いただきますようお願いいたします。なお、本動画の周知にあたっては、教室など児童生徒等が目につきやすい場所への掲示や1人1台端末を活用する際はポータルサイト、ブラウザのお気に入り機能等を活用し、周知するなどの方法も考えられますので、児童生徒等に届くよう積極的な周知をお願いいたします。あわせて、保護者向け

リーフレットも作成しましたので、こちらにつきましても積極的なご活用いただきますようお願いいたします。

このことについて、各都道府県・指定都市教育委員会においては所管の学校（専修学校を含む。以下同じ。）及び域内の市区町村教育委員会に対し、各都道府県私立学校主管部課においては所轄の学校法人及び学校に対し、附属学校を置く各国公立大学法人担当課においては所管の附属学校に対し、構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課においては所轄の学校設置会社及び学校に対し、各文部科学大臣所轄学校法人担当課においてはその設置する学校に対し、厚生労働省の専修学校主管課においては所管の専修学校に対して、それぞれ周知いただくようお願いいたします。

周知に際しては、全ての学校に一律に周知するのではなく、その周知先を適切にご判断いただくとともに、各学校において留意が必要な点を整理するなど、効率的・効果的な周知を行っていただくようお願いいたします。

（動画）

「クマにおそわれないための3つの約束」（政府広報・文部科学省・環境省）



（別添）

「保護者のみなさまへ クマ出没時の対策を家族で確認しましょう」

（参考）

[児童生徒等のクマ被害防止対策について | 文科省作成資料・取組・事業 | 文部科学省](#)
[× 学校安全](#)



<本件担当>

文部科学省総合教育政策局

男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育推進室

電話：03-6734-2695 E-Mail：anzen@mext.go.jp

保護者の
みなさまへ

クマ 出没時の対策を 家族で確認しましょう

近年、各地でクマの出没が増加しています。

登下校中も含め、子供たちの安全を守るためにはご家庭での声かけや地域での見守りが不可欠です。日頃から、次のポイントについて、お子様と一緒にご確認をお願いします。

1 クマの生態について

①日本のクマ 日本に生息するのは「ヒグマ」と「ツキノワグマ」の2種類。

【ヒグマ】（北海道に生息）



体長180-200cm
体重150-300kg
(最大400kg)



クマの足あとの特徴



「美の国あきたネット ツキノワグマ情報」より

- ・前足の幅
ヒグマ 12~18cm
ツキノワグマ 7~13cm
- ・前足と後足で
足跡の形が異なる
- ・指が5本

【ツキノワグマ】（本州・四国に生息）



体長120-145cm
体重70-120kg



②クマってどんな動物？

- ・学習能力が高い
特に食べ物に対する学習能力が高く、執着する。
- ・においや音に敏感
人や犬よりも鼻や耳がよくにおいに敏感で、わずかな音も聞きとることができる。
- ・足が速い
時速40km~60km程度で走ることができる。

③クマはどこにいる？

- クマが生息するのは森が中心。
近年は、
- ・草がしげった場所
 - ・川沿い
 - ・果実などがある
農地や人里
などにも出没。



道総研エネルギー・環境・地質研究所提供

2 クマの出没情報の確認

自治体が発表しているクマの出没情報をこまめに確認しましょう。

※環境省QRコードや各自治体の出没情報へリンク

環境省
国民向けの
クマに
関する情報



クマはいつどこに出るか分かりません。

「**知る**こと」「**備える**こと」が、子供たちの**命**を守ります。

3 クマに出会わないために

子供たちと確認したいポイント

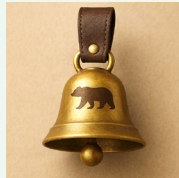
①ひとりで行動しない

友だちと一緒に行動しましょう。



②“声”や“音”で人がいることを伝える

声や音、手を叩くなどして、自分がいることをクマに知らせましょう。（外では友だちと大きな声で話す、クマ鈴を持つなど。）



クマ鈴

③クマがいそうなところには近づかない

クマの足あとやフン、爪あとを見つけたら、その場から離れましょう。



食べたもの：（上段左から）黒っぽいクマの糞、カキ（下段左から）サクラの実、カキ
「美の国あきたネット ツキノワグマ情報」より

4 もしも、クマに出会ってしまったら…

落ち着いて行動するために

①クマを見ながら、あわてず、ゆっくり、その場をはなれる

クマを刺激しないように大声を出さないにしましょう。（背中を見せて走ると、追いかけることがあります。）

②近くのお家に逃げて、助けを求める

安全な場所に逃げ込み、大人に助けを求めましょう。



襲われそうになった場合

急所を守る ※あくまでも最終手段

両腕で後頭部を覆いつ伏せになるなどして致命的ダメージを最小限にとどめましょう。



防御姿勢の取り方の例

5 学校・保護者・地域の皆さまへのお願い

- ✓ 日頃から、自治体が出すクマの出没情報を確認しましょう。
- ✓ 通学路や校地内を点検し、クマが隠れそうな場所がないかを確認しておきましょう。
- ✓ クマが隠れそうな場所のヤブを刈払い、見通しをよくしましょう。
- ✓ 関係者間でクマが出没した際の対応（登下校時の対応）や連絡体制を確認しておきましょう。
- ✓ 児童生徒への安全教育・指導とクマ遭遇時の対処訓練をしましょう。

動画「クマにおそわれないための3つの約束」
（政府広報・文部科学省・環境省）



【参考資料及び主な図、イラストの引用元】

環境省「クマによる人身被害の分析レポート」、「クマ類の出没対応マニュアル-改訂版-」、「豊かな森の生活者 クマと共存するために」、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構WEBサイト、美の国あきたネット（秋田県公式サイト）ツキノワグマ情報より

【問い合わせ先】

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課安全教育推進室 03-5253-4111

環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室 03-5521-8285